

「野の花の丘便り」6月上旬

また春がやって来ました

今年もまた花たちとのお付き合いが始まります。

野の花の丘は平成22年に約4,000株の花を植えたのが始まりです。その後手をかけなかったせいか、平成26年頃になるとあたり一面セイタカアワダチソウなどの雑草だらけ、花たちはすっかり見えなくなっていました。これじゃいかんと有志が集まり、雑草の駆除を始めました。

平成28年には花の状況を知らせるため花歴看板を設置、その後も雑草の駆除を続けていましたが、積極的に花を増やして行こうと令和4年には見本園を整備、令和5年には花の範囲を広げるためDブロック、Cブロックの雑草だらけの所に耕運機をかけ、そこに花の苗を移植しています。昨年はBブロックを整備、今年はAブロックを予定しています。年々雑草が減り、花が多くなっていることに喜びを感じます。

年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず、といつまでも昔のままではいられない、との詩もあります。まだまだ頑張っ、花も人も相似たりと、行きたいものです。

今年も花咲き一番乗りセンダイハギ



今年も頑張ろう



「野の花の丘便り」6月中旬

爽やかな初夏

6月も中旬となると、すっかり初夏の装いになって来ました。カッコウやセミの鳴き声が心地よく聞こえてきます。公園内ではトチノキ、アカシア、マーガレットの白い花、ハマナスの赤い花も咲き始めました。

空晴れて風爽やかに、初夏の気持ちのいい一日を満喫！といきたいところですが、カラスが子育ての時期に入り、ギャーギャーとうるさいだけではなくいきなり襲われます。雨でなくても折りたたみの傘はウオーキングの必需品です。

野の花の丘では盛りは過ぎましたが、センダイハギとチシマアザミが咲いています。チシマアザミは去年までほとんどなくなり種を取って育てました。その甲斐あってか今年は幾つかは見上げる高さ、2m以上に成長しました。

またエゾクガイソウ、エゾカワラマツバ、ノハナショウブが蕾を持ち始めました。

花の時期の主役の座を虎視眈々と狙っているようです。

まだ咲いています センダイハギ



チシマアザミ



蕾が出始めました エゾクガイソウ



エゾカワラマツバ



ノハナショウブ



「野の花の丘便り」6月下旬

もうすぐ花の季節

1年で一番日の長い時期になりました。6月なのに真夏のような暑さになり、花たちもぐんぐん伸びて一日見ないとあらと思うほど大きくなっていきます。

センダイハギ、チシマアザミは花が終わろうとしています。今年チシマアザミは大きく育ち、存在感を見せてくれました。また地味ではありますが、エゾカワラマツバ、ヒヨドリバナ、ヨツバヒヨドリも蕾みを付け始めました。

園路の脇ではブタナ（タンポポモドキ）が黄色い花を付け、邪魔くさいのようですがやたら目立っています。

また今年も満を持してヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオ、コバギボウシ、ノハナショウブなどの主役の花が蕾を付けています。

早く咲きたいと、蕾たちは身をふるわせているようです。

焦らないで、もうすぐあなたたちの季節だから！

主役の花たち

ヤナギラン



エゾクガイソウ



オカトラノオ



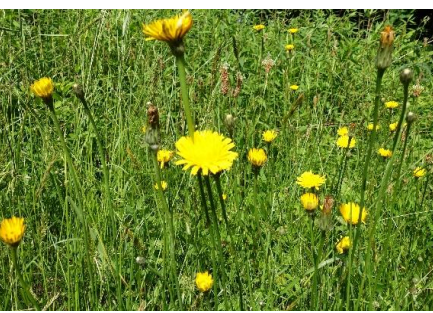
コバギボウシ



ノハナショウブ



チョイト邪魔者
ブタナ



「野の花の丘便り」7月上旬

花は咲き始めたけれど

ヤナギランのピンク色の花が咲き始め、いよいよ花の季節になって来ました。エゾクガイソウ、オカトラノオ、クサレダマなどの主役の花も咲き始めました。でもヤナギランのピンクの花、エゾクガイソウのムラサキの花、オカトラノオの白い花、ムム！なんだか以前と比べ花の量が少なくなっているようです。

ヤナギランは咲いてる範囲が狭まって来ているようだし、エゾクガイソウは以前はヤナギランの上からすっくと顔を出し見上げるような高さだったのに、すっかり小さくなったし数も少なくなった。オカトラノオも一面の白い花がまだらになって来ている。

雑草は少なくなったが花も少なくなっている気がするのは気のせいでしょうか、気のせいなら良いのだけど。

ヤナギラン

エゾクガイソウ



コバギボウシ



オカトラノオ



「野の花の丘便り」 7月中旬

花のピークに

7月も中旬となり、心待ちしてた花のピークを迎えました。北海道の夏は短い！と言われていましたが、年数回だった真夏日が最近では6月から続いています。暑さと小雨のせいか開花が早く、花も心なしか少なく感じられます。

ヤナギラン、エゾクガイソウ、コバギボウシは早くも盛りを過ぎたようです。オカトラノオ、クサレダマ、ノコギリソウ、ヒヨドリバナなども例年より早く咲き出しました。

7月5日におじさんパワー全開して、Aブロックの雑草だらけの場所に手を入れました。一昨年はD、Cブロック 昨年はBブロック、今年はAブロックと花たちが気持ちよく広がって行けるようにお手伝いをしています。

でも気のせいでしょうか、今年はヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオ等の主役の花が少なくなって来ているような？ そんなことないよね、と気を取り直したい。

盛りすぎた？

ヤナギラン



エゾクガイソウ



コバギボウシ



これから盛り？

オカトラノオ



クサレダマ



Bブロックの整備



「野の花の丘便り」 7月下旬

新天地開拓？

7月になってからの暑さと、雨がほとんど降らなかったせいか花も元気がないようです。野球場やラグビー場の芝生も水不足で、一時真っ黄っ黄っ黄になってしまいましたが、19日にやっと降ったまとまった雨で、一息ついたようです。

野の花の丘もヤナギランやエゾクガイソウ、オカトラノオなどの主役の花たちが終りを迎え、今はクサレダマ、トモエソウ、ノコギリソウなどが満開です。しかし花の色も地味で量も少ないせいか、華やかさに欠けます。

一方で花たちの勢力分布も変化してきているようです。Bブロックで咲き誇っていたヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオはA、C、Dブロックへと新天地を求めて移動、替わりにBブロックにはクサレダマが多くなりました。ノコギリソウはあちこちのブロックへと拡散、ほかの花たちもそれぞれ生き残りをかけて新たな場所を目指しています。分かっているいつまでも、同じ場所ではいられない、と。

今の主役

クサレダマ

トモエソウ

ノコギリソウ



これからの主役
オミナエシ

エゾミソハギ

ツリガネニンジン



「野の花の丘便り」8月上旬

本州と同じような夏に

今は一番暑い季節ですが、6月の下旬頃から真夏日が連発しているせいか、暑さのピークという気がしません。

野の花の丘は、ヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオなど夏の花が終わり、秋の七草の一つのオミナエシ、キクの仲間のヤマハハコ、エゾノコンギク、キキョウの仲間のツリガネニンジンが咲き出し、このくそ暑いのにすっかり秋の雰囲気です。オミナエシの黄色い花が今一番目立っています。いっぽうでオトコエシの白い花はほんの僅かオミナエシの陰にかくれるようにひっそりと咲いています。

今年はどういうことかキンミズヒキ、エゾゴマナがほとんど姿見せず、ハンゴンソウは今年も花が咲きませんでした。厄介者のセイタカアワダチソウは今年もお元気みたいであちこちに黄色い花を咲かせ出しました。

それにしても暑い！ 夏はまだまだ続くんですね。

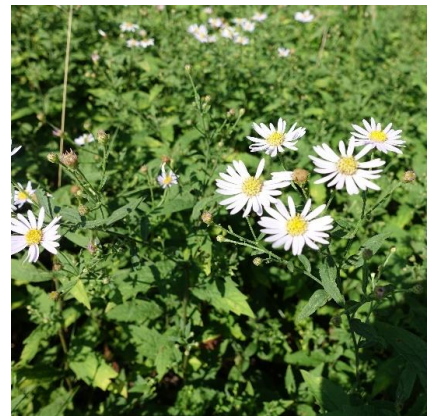
勢揃いした秋の花 ツリガネニンジン



ヤマハハコ



エゾノコンギク



元気なオミナエシ



オミナエシの影に咲くオトコエシ



「野の花の丘便り」8月中旬

秋の気配が

立秋も過ぎて暦の上では秋になりました。野の花の丘は8月中旬ともなると、世間より一足先に秋の気配、秋の花が次々に咲き出しました。今年はオミナエシの黄色い花が、随分増えて目立っています。また爽やかな薄紫色のツリガネニンジンも多くなりました。

一方でトモエソウ、ノコギリソウ、クサレダマは花が終り実を付け出しました。ヤナギランも咲き残りの花がありますが、綿毛を飛ばしています。みんな頑張っています。

8月になるとセイタカアワダチソウがあっという間にはびこって来ました。7日の日に除去作業を行う予定でしたが、雨のため中止、厄介者の黄色い花がやたら目立ちます。

嬉しいこともあります、ここ数年来花の咲かなかったハンゴンソウが1株ではありますが、花を咲かせています。

たったひとつだけの花、大事に育てて行かなくっちゃ。

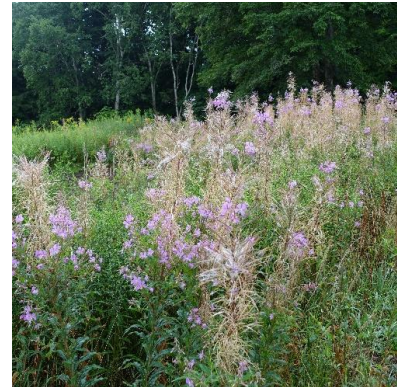
秋の空の色
ツリガネニンジン



トモエソウの
大きな実



綿毛を飛ばす
ヤナギラン



やっと咲いてくれた
ハンゴンソウ



なんとかならんのかこの厄介者
セイタカアワダチソウ



「野の花の丘便り」9月

今年も秋がやって来ました

今年も気温が最も高かった夏だったようですがもう9月、コオロギが日中も鳴き始め、さすがに朝晩は涼しくなってきました。

ヤナギラン、エゾミソハギ、ノコギリソウ、トモエソウ、ツリガネニンジン、ヒヨドリバナ、ヨツバヒヨドリetc花はほぼ終わり何となく淋しい秋の気配が漂って来ました。

今目立っているのはオミナエシの黄色い花と、招かれざるセイタカアワダチソウのこれまた黄色い花です。エゾミソハギ、エゾゴマナ、オトコエシも何とか踏ん張って花を咲かせ続けています。

これからはユウゼンギクとハギの季節になります。ユウゼンギクは、9月になるとどこからか湧いてきたように突然と咲き出し、野の花の丘一面を覆いつくします。園路の反対側の萩の花も素晴らしい生命力で今年もピンクの花を咲かせ始めています。萩とキク、どちらも日本の秋を代表する花ですね。

今年もこの二つの花に主役として最後を飾ってもらいましょう。

なんとか頑張っている

エゾミソハギ



エゾゴマナ



オミナエシ



オトコエシ



咲き始めたユウゼンギク



ハギ

